

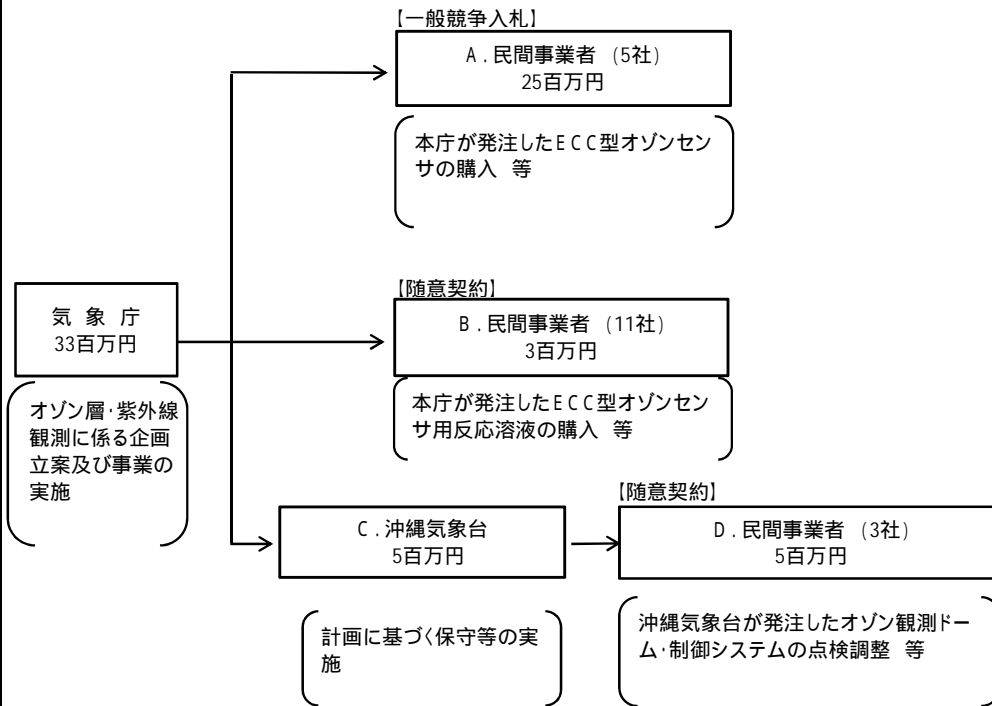
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	オゾン層・紫外線観測		担当部局	気象庁地球環境・海洋部		作成責任者	環境気象管理官 山田 真吾	
事業開始・終了(予定)年度	昭和42年度～		担当課室	環境気象管理官		環境気象管理官 山田 真吾		
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条 他) 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(第22条)		関係する計画、通知等	第3次環境基本計画(平成18年中央環境審議会策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	国内4地点でオゾン分光光度計観測およびオゾンゾンデ観測を実施するとともに、オゾン層の破壊に伴い増大すると予想される有害紫外線の観測を実施することにより、オゾン層および紫外線の状況を把握し、的確な情報を公表し、オゾン層保護対策の策定および推進に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	札幌・つくば・那覇・南鳥島の国内4か所において、地上に到達する紫外線の強さをオゾン分光光度計によって測定して上空のオゾン全量を知るオゾン全量観測や、気球に吊るした測器を飛揚することによりオゾンの高度分布を知るオゾンゾンデ観測、地上に到達する有害紫外線の強さを波長ごとに観測する波長別紫外域日射観測などを実施している。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	33	33	33	31	31	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	33	33	33	31	31		
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	地球環境に関する気象情報について、平成19年度から平成23年度までの各年度に3件の改善または新規の情報提供を行う。	成果実績	件	7	9	11	15	
		達成度	%	47	60	73		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	情報の発表回数 (紫外線観測・解析情報等)	活動実績	回	5122	5122	5122		
		(当初見込)	(5,122)	(5,136)				
	刊行物発行回数 (オゾン層観測報告等)	活動実績	回	3	3	3		
(当初見込)		(3)	(3)					
1地点あたりの観測回数 (オゾン全量/オゾンゾンデ/紫外線)	活動実績	回	1100/52/4500	1100/52/4500	1100/52/4500			
(当初見込)	(1100/52/4500)	(1100/52/4500)						
単位当たりコスト	6.4 (千円/回)		算出根拠	H22執行額 / H22情報の発表回数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	観測予報庁費	31	31	資料整理補助員の国交省統一単価改定による減 0.2百万円				
	計	31	31					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・成層圏オゾン(オゾン層)は、地球規模のスケールをもって変化するものであり、オゾン層保護対策の策定および推進に資する確かな情報を公表するためには、世界的な枠組みの中で現在気象庁が行っているオゾンゾンデ観測、オゾン全量観測、波長別紫外域日射観測は必要不可欠である。</p> <p>・観測用消耗機材の積算の見直しを行い、平成23年度予算に反映させた。また、平成22年度は、競争性の確保等効率的な調達方法の実施に努めた。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		引き続き、競争性の確保、スケールメリットを活かした一括購入の実施等調達方法の改善を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>・国交省統一単価改訂による減。</p> <p>・チームの所見を踏まえ、引き続き、競争性の確保、スケールメリットを活かした一括購入の実施等調達方法の改善に努める。</p>	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.ダイレック(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ECC型オゾンセンサの購入	10			
計		10	計		0
B.(株)離合社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ECC型オゾンセンサ用反応溶液の購入	1			
計		1	計		0
C.沖縄気象台			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	オゾン観測ドーム・制御システムの点検調整等	4			
消耗品費	ヘリウムガスの購入(沖縄気象台)	1			
計		5	計		0
D.(株)西村製作所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	オゾン観測ドーム・制御システムの点検調整	3			
計		3	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ダイレック(株)	ECC型オゾンセンサ購入(単価契約)	10	2	99.15
2	トーテックス(株)	600gゴム気球他の製作(単価契約)	8	2	非公表
3	三興通商(株)	GPSゾンデ(RS92-SGP型)の購入(単価契約)等	5	2	非公表
4	明星電気(株)	GPSゾンデ(RS-06G型)他の購入(単価契約)	2	1	99.67
5	(株)第一文真堂	フラットファイル他の購入	0.06	9	99.7
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)離合社	ECC型オゾンセンサ用反応溶液の購入	1	随意契約	
2	サンワコムシステムエンジニアリング(株)	紫外線予測情報提供装置等撤去	0.6	随意契約	
3	明星電気(株)	気象観測用巻下器ほか(単価契約)	0.4	随意契約	
4	(株)中村工業商会	グリースニップルほかの購入	0.3	随意契約	
5	トーテックス(株)	パイプセパレータ付パラシュート製作	0.2	随意契約	
6	昭和化工(株)	気象観測用パラシュートほか(単価契約)	0.06	随意契約	
7	(株)高崎電気	落下ゾンデ回収	0.05	随意契約	
8	(株)イワナシ	水道メーターほかの購入	0.02	随意契約	
9	(株)カタノ電気	オゾンゾンデの撤去(高層気象台)	0.02	随意契約	
10	(株)ヌマジリ	殺虫剤他の購入(高層気象台)	0.01	随意契約	

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄気象台	オゾン観測ドーム・制御システムの点検調整 等	5		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)西村製作所	オゾン観測ドーム・制御システムの点検調整	3	随意契約	
2	明星電気(株)	GPSオゾンゾンデ観測装置の点検調整(沖縄気象台)等	1.7	随意契約	
3	(株)オカノ	ヘリウムガスの購入(沖縄気象台)	0.7	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					